新聞広告を制作するための

大分合同新聞
デジタル制作 広告入稿ガイド

Ver.2.0.4

CONTENTS

新聞社でのデータの流れ ・・・

新聞社でのデータの流れ

大分合同新聞社では、広告データを受けてから印刷するまで、下に表記している行程を実施しています。商業印刷とは異なり、新聞制作の特性が存在します。そのため、それに即したデータの制作作業が発生します。

EPSデータ
念校ゲラ（PDFデータ）



●EPSチェック
データを開き、不備がないかを確認します。
※その後、こちらでは保存はしません。

●念校ゲラを校閲・審査
PDFは出力します。ゲラを見て、誤字や掲載基準との不適合がないか、調べます。

●RIP処理
EPSデータを掲載サイズにリサイズし、解像度1200 dpiの1bit-TIFF画像データに変換します。

●RIP後ゲラのチェック
念校ゲラと見比べ、違いや、はみ出したオブジェクト、文字等が抜けてないかをチェックします。

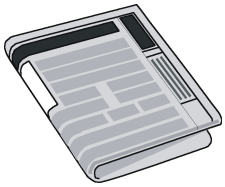
●記事組版システムへ広告画像データ送信

●記事面に広告画像データを配置

●大刷り、プルーフ紙をプリント出力
記事面全体を出力し、校閲と、正しく配置しているかをチェックします。

●刷版（CTP）
降版すると、組版システムから直接、焼き付け、刷版を作ります。

●印刷（オフセット印刷）
12万部/hの高速で印刷。カラー広告では、プルーフ紙を色見本にしています。



大分合同新聞のスクリーン設定

スクリーン線数	モノクロ　１００線（lpi） カラー　　１２０線（lpi）
網点角度	K　＝４５° C　＝７５° M　＝７５° Y　＝　０°
網点形状	円
出力解像度	1200 dpi

「きれい」な新聞カラー広告を実現するために

カラー広告色見本プロファイル「NSAC」（エヌザック・Nihon Shimbun Ad Color）

NSACとは、日本新聞協会が2006年10月に策定した、新聞広告印刷のためのカラー広告色見本プロファイル。新聞輪転機の印刷特性を反映しているので、質の高い色再現が可能。掲載紙面に即した色合いで、制作作業ができます。詳しくは日本新聞協会のホームページをご覧下さい。

日本新聞協会ホームページ　http://www.pressnet.or.jp/adarc/edi/nsac01.html

制作上での基本事項

◎Adobe**Illustrator**で制作してください。

◎バージョンは、**8.01 ～ CS3（13.0.3）**。

◎保存形式は**EPS形式**。（CS4～CCで制作の場合は、EPS保存時にバージョンをCS3にして保存）

◎文字はすべて、**アウトライン化**してください。

◎画像はすべて、**埋め込み**をしてください。

◎トンボや広告枠外の文字等は削除してください。（Ｐ５を参照）

◎広告枠からはみ出しているオブジェクトは、**マスク処理**をしてください。（Ｐ５を参照）

◎オーバープリント機能は**使用不可**です。（Ｐ６を参照）

◎**モノクロ広告**の場合、カラー画像等があれば、**グレースケール**に変換してください。

◎**カラー広告**は、CMYKで制作してください。RGB画像は**CMYK**に変換してください。

◎二次元バーコード(QRコード)は、グレースケールに変換してください。

◎画像解像度は、300～600ppiを推奨します。

◎保存時に、「透明」のプリセットを、**「高解像度」**に設定してください。

◎修正が発生した場合は、再入稿していただきます。

■入稿規定ガイドに関するお問い合わせは･･･

大分合同新聞社ビジネスサポート部

Tel.097-538-9641　Fax.097-538-9681

□本 社 営 業 部　〒870-8605 大分市府内町3-9-15
Tel.097-538-9642 Fax.097-538-9681

□東京支社営業部　〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-1日本プレスセンタービル4階
Tel.03-6205-7881 Fax.03-6205-7882

□大阪支社営業部　〒530-0047 大阪市北区西天満2-6-8堂島ビルヂング４階
Tel.06-6363-2778 Fax.06-6363-2779

□福岡支社営業部　〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-36天神NKビル８階
Tel.092-741-7584 Fax.092-741-9107

1.広告データ制作について(Illustratorでの制作)

1.制作アプリケーション

・Mac OSの**Adobe Illustrator**で制作して下さい。
・対応バージョンは、**8.0.1～CS3(13.0.3)**。

2.入稿形式(保存形式)

・保存形式は、**EPS形式**。
※下位に落とさず､制作と同一バージョンで保存してください。 CS4以降はCS3で保存。

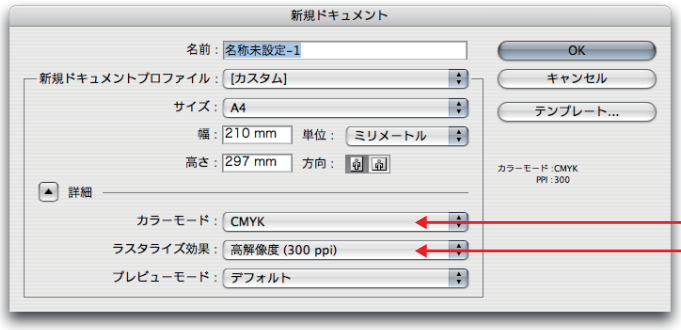
3.画像の埋め込み

・画像は、すべて**埋め込み**をして下さい。
・画像データを添付する必要はありません。

4.色の設定

・モノクロ広告はグレースケール、カラー広告はCMYKモードに設定、使用して下さい。
・**RGBモード**は、**使用不可**です。

⇒Illustratorの**新規ドキュメント**からは



「新規ドキュメント」の画面で、カラーモードを「CMYK」に設定して下さい。

または、「メニュー」の「ファイル」→「ドキュメントのカラーモード」から、「CMYK」にチェックを入れて下さい。

高解像度(300ppi)を選択

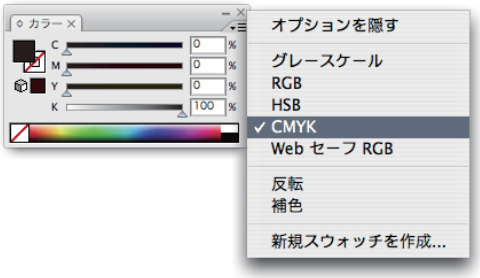
「効果」→「スタイライズ」などの結果に影響します。詳細はP7「10.効果メニュー」を参照ください。

◎モノクロの場合



「グレースケール」にチェックを入れて下さい。

◎カラーの場合



「CMYK」にチェックを入れて下さい。
※ＲＧＢは使用不可

◎単色カラーの場合

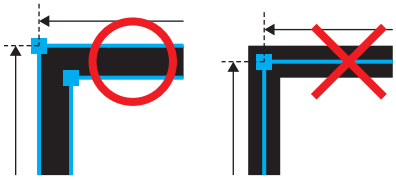
・弊社では、単色(特色)インクを使用しての印刷は、現在実施していません。単色カラーは、CMYKの掛け合わせ(※総インク使用量240%以下)で表現をして下さい。
・濃淡を付け表現する場合は、各色の割合を変えずにして下さい。
(例:M･100%＋Y･80%　濃度を80%に薄くする⇒　M･80%＋Y･64%)
・カスタムカラーは、なるべくは使用しないで下さい。そのままでも運用しますが、色合いが変わる可能性があります。**プロセスカラーへの変換**をお勧めします。

5. フォント、線について

・**フォントサイズ**は、**7pt以上**を使用して下さい。
・フォントは、必ずすべて**アウトライン化**して下さい。
・**線幅は、0.12pt（0.042mm）以上**を使用して下さい。※白抜きは0.15pt以上。
・スミ文字は、なるべくKのみで表現して下さい。

6. 外枠罫の設定

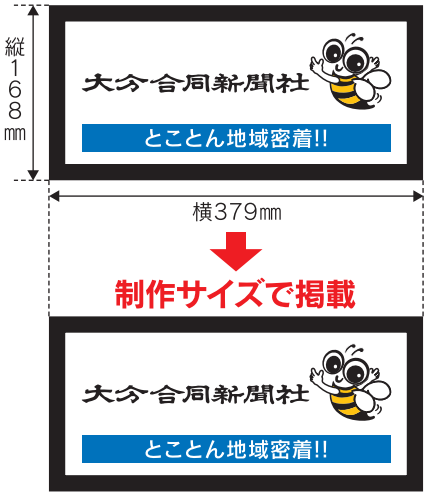
・広告の外枠罫は、**線幅の外側で測ったサイズが、掲載サイズ**になるように制作して下さい。
※罫の中央で測って制作されているケースを、多く見かけます。その場合、変倍して掲載することになります。



例／全5段（横379mm×縦168mm）

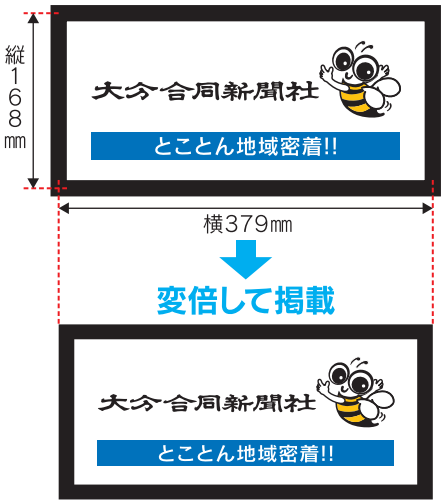
[◎良い例]

罫の**外側**で原稿サイズに設定



[×悪い例]

罫の**中央**で原稿サイズに設定



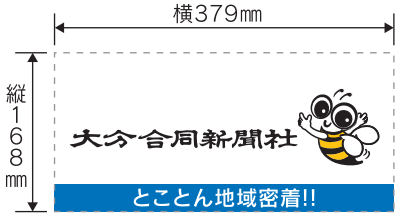
※罫が太いほど、小さくなって掲載されます。

●外枠罫ナシの場合（バウンディングボックスの設定）

広告を外枠罫で完全に巻かず、余白をもたせたい場合は、広告サイズの透明罫(塗りなし)を入れて下さい。その際、「バウンディングボックス有り」または「余白あり」と指示をお願いします。透明罫がない場合や指示がない場合は、変形して掲載されます。

例／全5段（横379mm×縦168mm）

[◎透明罫がある場合]



点線が広告サイズになります。
※入稿データには仕上りサイズ（ここでは全5段）の透明罫（塗り・線なし）を付けていただきます。

[×透明罫がない場合]



透明罫がない、そして「余白あり」の指示がないと、掲載上は自動的に広告サイズ（ここでは全5段）に変倍されます。

※必ず仕上がりサイズに透明罫を付けてください。

7. 不要なオブジェクト削除とマスク処理

広告枠外に余計な部分(オブジェクト)が存在すると、その部分も広告の一部分とみなし処理されます。このようなトラブルを回避するための処理をして下さい。

●不要なオブジェクトの削除

・**枠外の情報やテキスト**、誤って発生した**孤立点**など、**不要なオブジェクト**を削除して下さい。
・**トンボ**は付けないで下さい。

[×悪い例]



●孤立点等の不要なオブジェクトを見つけるには

メニューから、**「選択」→「すべてを選択」**をします。ズームアウトして広域でも見て下さい。
※「すべてを選択」する前に、**「オブジェクト」→「ロックを解除」、「すべてを表示」**にしておいて下さい。

●マスク処理

画像等のパスや線が、外枠罫よりも外に出てしまう場合、画面上では見えませんが、影響を及ぼすことがあります。**クリッピングマスク**などの**マスク処理**をして下さい。

[×悪い例]

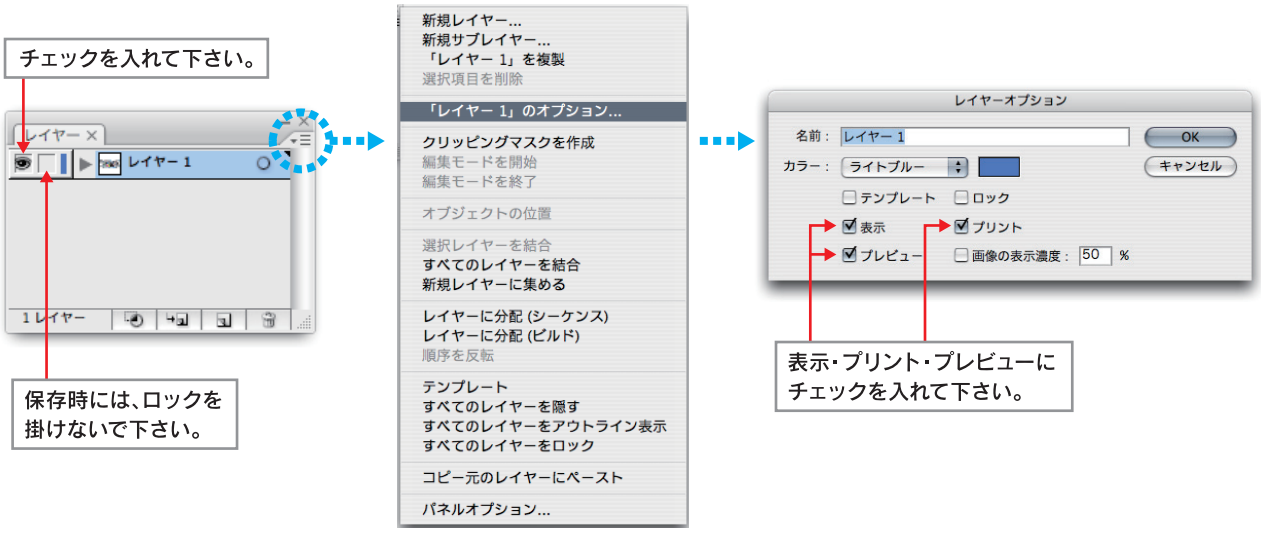


⇒マスク処理方法

・範囲を選択した後、メニューから、**「オブジェクト」→「クリッピングパス」→「作成」**をします。

8. レイヤーの設定

・レイヤーオプション内の**「表示」**、**「プリント」**にチェックが入っているか、確認して下さい。
※チェックが外れていると、画像が抜けて掲載してしまいます。
・複数のレイヤーは、統合して下さい。



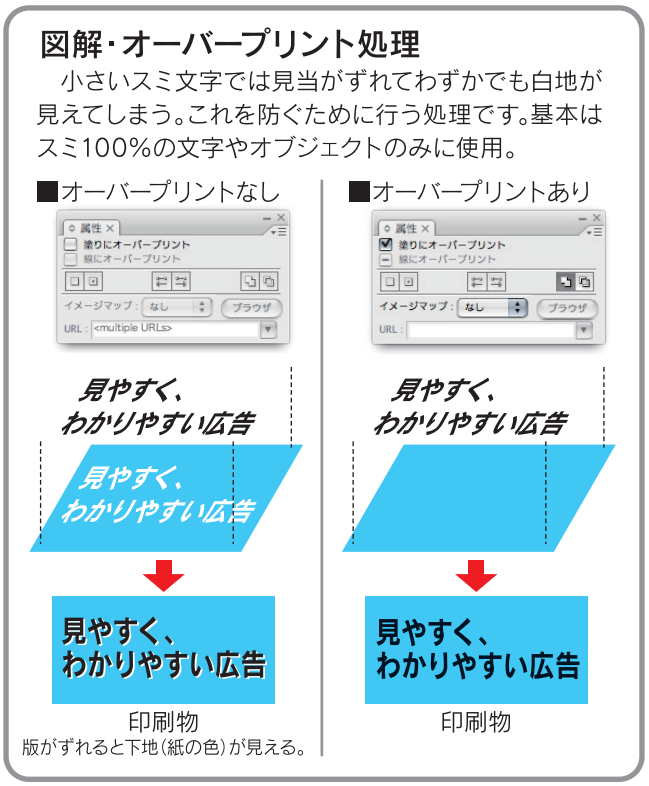
9. オーバープリントの使用について

弊社では、オーバープリント機能を、**基本許可していません。**もしご使用を希望する場合は、**100%のスミ文字のみ**で、なおかつ使用箇所を連絡して下さい。

オーバープリントとは…
色の上に別の色を重ね刷りする処理のこと。例えば、色の下地に別の色文字をのせる。メリットは版ズレしても白い箇所が出来ない。ただし、混ぜ合わせなので、下地がM100%、文字がY100%だと、文字の色はY100%＋M100%で表現されます。

図解・オーバープリント処理

小さいスミ文字では見当がずれてわずかでも白地が見えてしまう。これを防ぐために行う処理です。基本はスミ100%の文字やオブジェクトのみに使用。



[×悪い例]

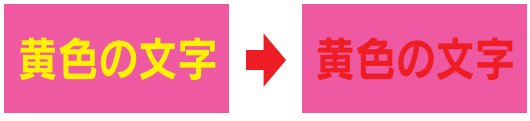
■白抜き文字にオーバープリントを使用



画面上　　掲載紙面上

下地(K100%)と文字の色(白)が掛け合わされるので紙面上ではK100%となり、消えてしまいます。

■黄色の文字にオーバープリントを使用



画面上　　掲載紙面上

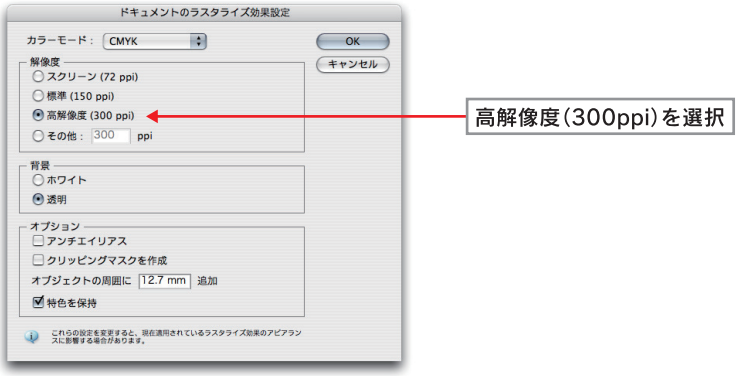
文字の色(Y100%)が下地(M100%)と掛け合わされるので、紙面上ではM・Yがそれぞれ100%となり色が変わってしまいます。

制作時にオーバープリントのチェックを外すか、保存時に、オーバープリントを**「破棄する」**にしてください。(P8「14.保存の設定」の項を参照)

10. 効果メニュー

効果メニューの**「ラスタイライズ」**→**「ドロップシャドウ」**などを使用する時、効果メニューの**「ドキュメントのラスタライズ効果設定...」**の解像度を**「高解像度（300ppi）」**に設定してください。**制作を始める前に必ず設定してください。**弊社では「高解像度（300ppi）」でデータを運用します。「スクリーン（72ppi）」で制作・入稿されると広告の表現が大きく変わる可能性がありますので、十分にご注意ください。

⇒メニューの「効果」→「ドキュメントのラスタライズ効果設定」



例／「効果」→「ラスタイライズ」→「ドロップシャドウ」解像度の違いによる比較

[◎良い例]
高解像度（300ppi）



[×悪い例]
スクリーン（72ppi）



11. インク濃度について

深みの黒を出すために、スミ（K）に他の色を足すことがよくあります。ただ、インク濃度が高すぎると、汚れの原因にもなり、品質が悪くなる恐れがあります。TAC値（インク総使用量）が240%を超えた場合は、写真加工や色調整をして、インク濃度を抑える作業をして下さい。

●TAC値（インク総使用量）の制限

TAC（Total Area Coverage）**値**とは、各CMYKの濃度値をすべて足した値をいいます。
（例：C・60%＋M・60%＋Y・60%＋K・60%＝TAC値240%。すべて100%だとTAC値は400%）
弊社では、**TAC値（インク総使用量）の上限を、240%にしています。**

12. データ容量について

データ容量が大きいと、保存時やRIP処理時などでトラブルの原因になります。全15段で300MB以下、全５段で120MB以下を目安に制作して下さい。

●容量を抑えるには

①画像の使用しない部分をトリミングして下さい。
②画像の解像度を下げて下さい。大きな写真を縮小した場合は、解像度を確認して下さい。

13. PDF（念校用）の作成

校閲等のチェック用に、最終稿のゲラが必要となります。オンライン送稿等で出力紙が送れない場合、代わりにPDFデータを添付していただきます。

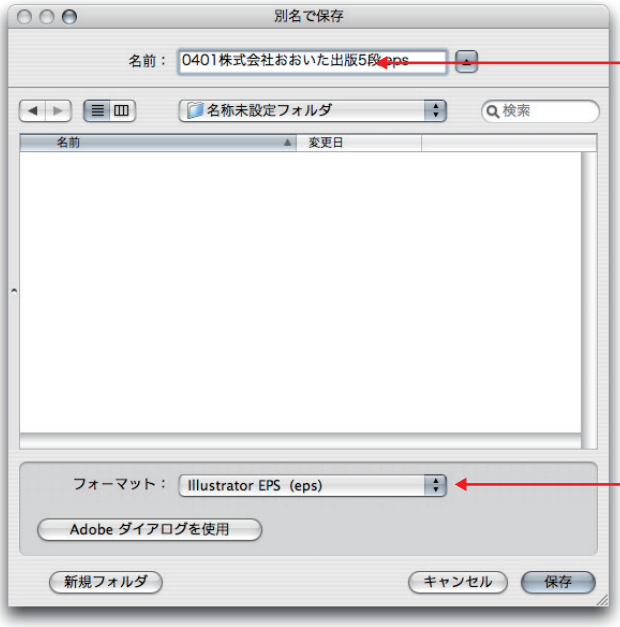
●PDFデータの作成方法

①最終稿のIllustratorで、メニューの**「ファイル」**→**「別名で保存」**から、
②フォーマットを**「Adobe PDF（pdf）」**を選択し、**「保存」**をクリック。
③**「PDFを保存」**をクリックし、完了。
※必ず最終稿のEPSデータから、作成して下さい。

14. 保存時の設定

入稿データ用に最終稿データを、IllustratorのEPS形式で保存していただきます。
※保存する前に、入稿に適しているかの確認をしてください。

⇒メニューの「ファイル」→「別名で保存」から



ファイル名の付け方は、P11をご参照ください。

「Illustrator EPS(eps)」を選択。必須

「保存」をクリック



●バージョン：作成したバージョンで保存。
※CS4以降はCS3に下げて下さい。

●プレビュー
形式：**「Macintosh（8-bitカラー）」**を選択 必須

●透明
オーバープリント：「保持」になっていれば、**「破棄」**
設定：**「高解像度」**に設定

●フォント　特に指定はなし。

●オプション
- **「配置した画像を含む」**はきちんと画像を埋め込んでいる場合は左図のようにチェック項目がアクティブになりません。
- **「サムネールを作成」**にチェック<推奨>
- **「CMYK PostScriptをRGBファイルに含む」**は外す
- **「コンパチブルグラデーション＆グラデーションメッシュプリント」**は外す 必須
- Adobe PostScript：**「レベル2」**、**「3」**どちらでも可

2.画像制作について（フォトショップの使用について）

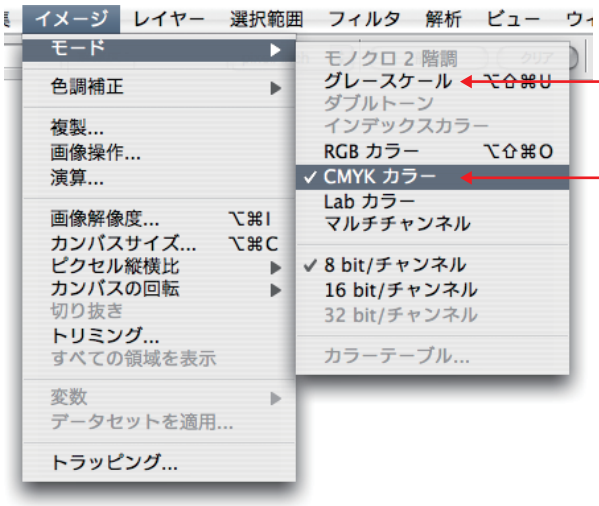
1. 保存形式

Photoshop **EPS形式**

2. カラーモード

・カラー画像は**「CMYKモード」**、モノクロ画像は**「グレースケールモード」**に変換して下さい。
・RGB画像は必ず、**CMYK**か**グレースケール**モードに変換して下さい。

⇒変換方法



メニューの**「イメージ」**→**「モード」**から、
・モノクロは**「グレースケール」**にチェック
・カラーは**「CMYKカラー」**にチェック

3. 解像度

・カ ラ ー：300～600ppi（推奨値：400ppi）
・モノクロ：200～400ppi（推奨値：280ppi）
・ロゴ等のモノクロ２階調画像は、1200ppiが推奨値です。
・大きな画像を縮小して使用する場合は、解像度が高くなり過ぎていたら、下げてください。

4. トリミングの実施

実際に配置する画像は、使用しない部分をできるだけカットするよう、トリミングをして下さい。データが重くなるのと、枠からはみ出るのを防止するためです。

5. 画像補正について

・TAC値(インキ総使用量)が240%を超えないように、調整して下さい。
・特に、RGB画像をCMYK画像に変換する際、TAC値が高くなることがあります。色味が変わらないように、注意しながら調整をして下さい。

6. ICCプロファイルについて

ICCプロファイルの埋め込みは、しないで下さい。

⇒メニューの「編集」→「カラー設定」から



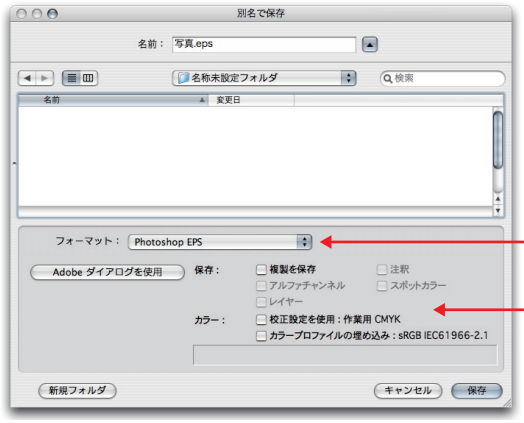
「カラーマネジメントポリシー」で、それぞれ「オフ」にして下さい。

※ICCプロファイルを使用すると、オリジナルと異なる色味に変換される恐れがあります。

7. 保存時の設定

「Photoshop EPS」 形式で保存して下さい。

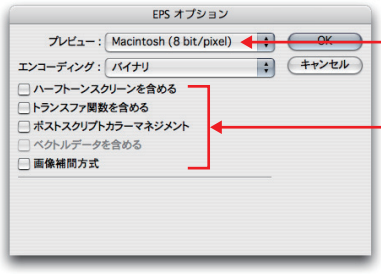
⇒メニューの「ファイル」→「別名保存」から



「Photoshop EPS」を選択。**必須**

すべての項目のチェックは、入れないで下さい。**必須**

「保存」をクリック



●プレビュー：**「Macintosh（8bit/pixel)」**または
「TIFF(8bit/pixel)」を選択

●エンコーディング：下記の表を参照

●この項目はすべて、チェックは入れないで下さい。

Illustratorのバージョンと PhotoshopEPSエンコーディング形式とも適合表

Illusutrator	バイナリ	ASCII	ASCII85	JPEG 最高画質・(低圧縮率)	JPEG 低画質～高画質
8～10	◎	○	×	○	×
CS～CS3	○	○	◎	○	×

◎：推奨　○：使用可　×：使用不可

3. 入稿方法について

1. 入稿データとメディアについて

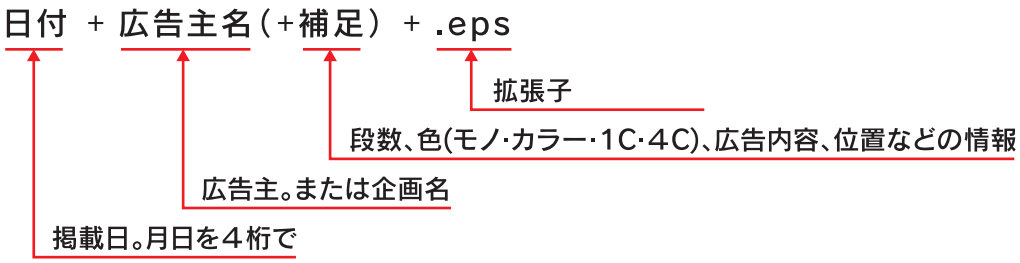
●入稿で必要なもの

・広告のEPSデータ(完全データ)
・念校用の出力ゲラ１枚。(オンラインで入稿する場合は、PDFデータを添付して下さい)
・カラーの見本紙がある場合は、３枚を添付して下さい。
・EPSデータとPDFデータをフォルダに入れて、MOやCDなどのメディアにコピーして下さい。
※出力ゲラがある場合は、PDFデータは不要です。

2. ファイル名・フォルダ名の付け方

ミスなく作業できるよう、下記を参考に、わかりやすいファイル名を付けて下さい。

〔ファイル名の見本〕



例)　0514母の日企画.eps(日付＋企画名＋.eps)
0514かぼす観光社題字下.eps(日付＋広告主名＋位置＋.eps)
0514かぼす工務店3dカラー .eps(日付＋広告主名＋段数＋色＋.eps)

◎ファイル名に次の文字は使用できません。「　/　:　;　,　*　?　"　<　>　|　?　」
◎フォルダ名は、ファイル名を参考にして、付けて下さい。

3. 入稿締め切り

・**掲載日前日(１日前)の午前11時まで。**
・土・日・祝日は入稿の対応ができません。土・日・祝日と休み明けの掲載分は、休前日にすべての入稿を完了して下さい。

4. その他

・入稿前に、データのウイルスチェックをして下さい。
・**弊社では、象嵌や修正はしません。**入稿後に修正作業が発生した場合、制作した所で修正をして、再度入稿して下さい。

4. 広告原稿制作サイズ

1. 記事下サイズ

段		縦(mm)	横(mm)
1段		31	379
2段		65	
3段		99	
4段		133	
5段		168	
6段		202	
7段		236	
8段		271	
9段		305	
10段		339	
11段		374	
12段		408	
13段		442	
14段		477	
15段	(社罫あり)	511	379
	(社罫なし)	515	382
30段	(社罫あり)	511	785.5
	(社罫なし)	515	789.5

割り	横(mm)
1/2	188
1/3	125
1/4	93
1/5	74
1/6	62
1/7	53
1/8	46

［タブロイド版］

段		縦(mm)	横(mm)
全面広告	(社罫あり)	376	245
	(社罫なし)	380	249
見開き	(社罫あり)	376	516
	(社罫なし)	380	520
記事下		98	245

2. 雑報サイズ

種別		縦(mm)	横(mm)
1面題字下		45	70
ローカル題字下		40	55
テレビ面	番組横(朝刊)	67	65
	番組横(夕刊)	75	30
	番組下(朝刊)	65	65
	番組下(夕刊)	10	125
	記事中	20	62.5
夕刊・マンガ下		15	50
訃報横		83	13

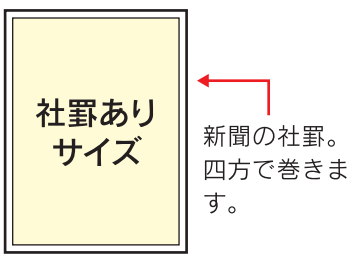
種別		縦(mm)	横(mm)
記事中	1段×3.5	31	35
	1段×7	31	70
記事挟み	新1段×1	40	10
突出	2段×1.75	65	17.5
	2段×3.5	65	35
	2段×5.25	65	52.5
	2段×7	65	70
	3段×5.25	99	52.5

3. 全広サイズと社罫について

全広(15段や30段)では、２つのサイズがあります。新聞の社罫を付ける**「社罫あり」**サイズと、付けない**「社罫なし」**サイズです。社罫の付け方に合わせたサイズで、制作をして下さい。

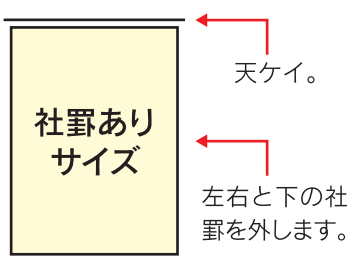
◎社罫あり(四方ケイあり)

・広告罫で巻かなくてもよい。
・社罫ありサイズで制作
※社罫なしサイズだと縮小



◎天ケイのみ(三方ケイなし)

・基本、広告罫で巻く。
・社罫ありサイズで制作
※社罫なしサイズだと縮小



◎社罫なし(囲みケイなし)

・広告罫で完全に巻く。
・社罫なしサイズで制作
※社罫ありサイズだと拡大

